

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171000260		
法人名	有限会社 睦和福社会		
事業所名	ライフサポート あさひ		
所在地	佐賀市川副町鹿江1413-8		
自己評価作成日	平成22年3月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do">http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成22年4月2日	外部評価確定日	平成22年5月27日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>利用者様のその日の状態に応じて、平行棒や他のリハビリ用具を利用して、運動機能維持のリハビリを実施している</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所の室内は、自然の光で明るく、余分な光や音もない。その中で利用者は、職員の笑顔のある支援のもとでゆったりと暮らしている。一日の流れは、利用者中心でゆっくりと過ぎており、職員は、利用者を一人の尊厳のある人として敬い、誇りや自尊心を大事にしながら、日々のケアにあたっている。</p> <p>食事の副食は衛生面や栄養のバランス、一人ひとりの状況、調理に費やす時間等を考慮して、献立を外注し、調理している。ご飯と吸い物は、直接調理している。調理時間の短縮で生まれた時間は、利用者と共に過ごす時間に当てている。また、歩行補助器具やプーリー等を設置して、身体機能の維持を図る工夫をしている。</p> <p>職員間のチームワークが良く、若い職員も上司を信頼している。絵手紙の特技や調理の腕を活かして、利用者が好むぜんざいや回転焼きを作る等、職員の持っている特技を活かした運営である。</p>
---

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東)	自己評価／ユニットB(西)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「地域に基づき明るく楽しい環境の中で安全と尊厳のある生活を提供いたします」を理念としています。	「地域に基づき明るく楽しい環境の中で安全と尊厳のある生活を提供いたします」を理念としています。	理念は職員も目につくりビングに掲げてあり、理念を意識しながら、日常のケアに臨んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	理念はホーム内の目的つく場所に掲示しています。	理念はホーム内の目的つく場所に掲示しています。	現在の場所に移転してまだ日が浅いが、移転前の地域でも地域との結びつきが少なかった。新しいこの地で、早く、地域とつながりを持ちたいと考えている。	自治会に加入したり、地域行事にも参加する等、地域と共生する事業所の取り組みを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	いまだ地域の方々との交流が出来ておらず実践できていません。	いまだ地域の方々との交流が出来ておらず実践できていません。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	グループホームでの行事などに参加して頂いてはいるが、取り組み状況等についての話し合いや意見交換が十分に行えていたと言えません。	グループホームでの行事などに参加して頂いてはいるが、取り組み状況等についての話し合いや意見交換が十分に行えていたと言えません。	2ヶ月毎に開かれている。その年の目標、利用者の暮らしぶり、行事、避難訓練の見学、その他が議題になっている。委員からは、地域住民の行事への参加働きかけや、住民もを交えての避難訓練の実施などが提案されている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を通じて、地区の福祉ネットワークづくりの為の話合いの案内や入居者様の部屋の空き状況について連絡のやり取りを行っています。	運営推進会議を通じて、地区の福祉ネットワークづくりの為の話合いの案内や入居者様の部屋の空き状況について連絡のやり取りを行っています。	運営推進会議の席で実情を理解してもらっただけでなく、管理者が福祉担当課へ顔を出している。そして、情報をもらったり、行政との協力が必要な相談事に真摯に対応してもらえる関係にある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	場合に応じて、安全確保のため玄関の施錠を行っているが、入居者様の要望に応じて外出(散歩)を行ったりと臨機応変に対応しています。	場合に応じて、安全確保のため玄関の施錠を行っているが、入居者様の要望に応じて外出(散歩)を行ったりと臨機応変に対応しています。	直接的な身体拘束や言葉による拘束はない。しかし、玄関や玄関に至る居間の戸は施錠されている。家族にも施錠についての説明が行われていない。	利用者の安全確保を図りながら施錠をしないケアの工夫の検討が期待される。

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 東 ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( 西 ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者様に対する虐待が見過ごされる事がないように注意を払っているが、高齢者虐待防止法についての理解は勉強不足です。	利用者様に対する虐待が見過ごされる事がないように注意を払っているが、高齢者虐待防止法についての理解は勉強不足です。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についての勉強会、話し合う機会を持っておらず、学ぶ機会と活用できる支援が行えていません。	権利擁護についての勉強会、話し合う機会を持っておらず、学ぶ機会と活用できる支援が行えていません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結には説明を十分に行い、納得していただいた上で署名、捺印を頂いている。契約終了時にも契約解除届けを書いていただいています。	契約締結には説明を十分に行い、納得していただいた上で署名、捺印を頂いている。契約終了時にも契約解除届けを書いていただいています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置したり、面会時にもご家族様の意見や要望をお話していただけるような環境づくりを行っています。	玄関に意見箱を設置したり、面会時にもご家族様の意見や要望をお話していただけるような環境づくりを行っています。	職員は面会時に笑顔で家族に接し、家族も相談しやすく感じている。家族会とも意見交換をしたいと思っている。要望や意見は定例の会議で検討したり、緊急性があるものは直ちに対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の業務の中で気になった事や意見を書き込める場所を設け、月1回の全体ミーティングも行っています。	毎日の業務の中で気になった事や意見を書き込める場所を設け、月1回の全体ミーティングも行っています。	管理者と一般職員、年配者と若い職員の間でも互いに遠慮なく意見をだしている。管理者も職員の意見や気持ちをよく受け止めている。若い職員の絵手紙を活かしたり、手すりの位置の検討、棚の作製等は運営に反映した例である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は管理者を含めた全職員の勤務状況勤務努力を把握され、職員が楽しめるような社員旅行等の福利厚生や、主婦の方が子供連れで仕事に来れるようにといった職場環境にも配慮されている。働きやすい職場とする為の設備投資もされている。	代表者は管理者を含めた全職員の勤務状況勤務努力を把握され、職員が楽しめるような社員旅行等の福利厚生や、主婦の方が子供連れで仕事に来れるようにといった職場環境にも配慮されている。働きやすい職場とする為の設備投資もされている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	必要であれば研修を受ける機会を設けられています。	必要であれば研修を受ける機会を設けられています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 東 ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( 西 ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	経営が同じのグループホーム職員と交流(忘年会)する機会を設けてあり、お互いの業務に関する意見交換を行っています。	経営が同じのグループホーム職員と交流(忘年会)する機会を設けてあり、お互いの業務に関する意見交換を行っています。		
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居契約時やサービスが開始する段階で利用者様が困っている事や要望がないか聞く姿勢を心がけ実施しています	入居契約時やサービスが開始する段階で利用者様が困っている事や要望がないか聞く姿勢を心がけ実施しています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居契約時のアセスメントでご家族様より要望や心配されている事などを話聞いています。	入居契約時のアセスメントでご家族様より要望や心配されている事などを話聞いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始時に今後必要と思われるサービスについては対応しています。(通院介助など)	サービス開始時に今後必要と思われるサービスについては対応しています。(通院介助など)		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	1日の生活の中で、食事の味付けのアドバイスや佐賀の歴史について教えていただくこともあり、暮らしを共にするもの同士の関係を築いています。	1日の生活の中で、食事の味付けのアドバイスや佐賀の歴史について教えていただくこともあり、暮らしを共にするもの同士の関係を築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様が体調不良になられた場合にはご家族様と連絡を密に取り合い、病院の受診や今後の方針に向けた相談をお互いに行っています。場合によっては医療機関までご家族様と付き添いを行っています。	利用者様が体調不良になられた場合にはご家族様と連絡を密に取り合い、病院の受診や今後の方針に向けた相談をお互いに行っています。場合によっては医療機関までご家族様と付き添いを行っています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 東 ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( 西 ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔からのご友人との手紙のやり取りの支援を行っている。頼まれた手紙に切手を貼ってポストに入れたり、手紙が届いた事の電話を取りついたりなどを行っています。	昔からのご友人との手紙のやり取りの支援を行っている。頼まれた手紙に切手を貼ってポストに入れたり、手紙が届いた事の電話を取りついたりなどを行っています。	知り合いの方が訪ねて来たり、眼科等の受診の際に、そこで知人と待ち合わせをする利用者もある。馴染みの美容室を利用したり、家族と墓参りに出かける方もある。外泊も支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	介護計画書を通じて孤立しないような支援に努めているが、今後も様々な工夫が必要です。	介護計画書を通じて孤立しないような支援に努めているが、今後も様々な工夫が必要です。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も必要に応じて相談支援に努めるようにしている。入院された場合など面会に行き経過を見守っています。	サービス終了後も必要に応じて相談支援に努めるようにしている。入院された場合など面会に行き経過を見守っています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	サービス開始時や普段の生活の中で定期的にアセスメントを行い。希望や意向の把握に努めている。困難な場合もなるべく本人本位となるように検討している。	サービス開始時や普段の生活の中で定期的にアセスメントを行い。希望や意向の把握に努めている。困難な場合もなるべく本人本位となるように検討している。	全職員がその人らしく暮らせるためにも、思いや意向の把握に努めている。入居時は勿論、普段の生活の場や定期的なアセスメントで、把握している。意思を伝えにくい方も、生活歴やちょっとした行動、表情、つぶやき等を見逃さないようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居契約時に利用者様いままでの生活環境や暮らし方について話を伺っている。御本人様の趣味や嗜好などの把握も行っています。	入居契約時に利用者様いままでの生活環境や暮らし方について話を伺っている。御本人様の趣味や嗜好などの把握も行っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の担当職員をはじめ全職員が普段の生活状況を見ながら、利用者様のその時の状態や有する可能性について考え、全体会議の場や業務の中で把握しています。	利用者様の担当職員をはじめ全職員が普段の生活状況を見ながら、利用者様のその時の状態や有する可能性について考え、全体会議の場や業務の中で把握しています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 東 ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( 西 ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画書の作成前のアセスメント、ご家族様と利用者様の要望、全体会議での意見交換、主治医からの意見に基づき、その時その時の介護計画書を作成しています。	介護計画書の作成前のアセスメント、ご家族様と利用者様の要望、全体会議での意見交換、主治医からの意見に基づき、その時その時の介護計画書を作成しています。	利用者や家族の要望、その人らしく暮らせるための課題、諸情報をもとに、全職員で検討し、計画を作成している。計画案は家族に説明し、話し合いを持っている。随時、または、定期的に評価し、本人本位の視点で見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々のケース記録に毎日の行ったケアについて記録をしています。気づきや改善の必要性が生じた場合には申し送り職員間で情報を共有できるようにしています。	個々のケース記録に毎日の行ったケアについて記録をしています。気づきや改善の必要性が生じた場合には申し送り職員間で情報を共有できるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	受診の必要性が出てご家族様の都合がつかない場合には有料ではあるが代行で通院の援助を行っています。	受診の必要性が出てご家族様の都合がつかない場合には有料ではあるが代行で通院の援助を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現状では地域資源の把握が出来ておらず、今後様々なネットワークに参加し地域資源の把握と支援に向けて努力します。	現状では地域資源の把握が出来ておらず、今後様々なネットワークに参加し地域資源の把握と支援に向けて努力します。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約締結時にこれまでの医療機関の受診を希望されるのか、そうされないのかの意思確認を行い、その希望通り対応しています。	契約締結時にこれまでの医療機関の受診を希望されるのか、そうされないのかの意思確認を行い、その希望通り対応しています。	利用者と家族が希望するかかりつけ医で受診している。病院への付き添いは、家族の都合がつかない場合や急を要する場合は、職員で対応している。協力医療機関からは定期的に往診がっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	必要に応じ、非常勤の看護師と週1回の訪問看護師の方に相談し速やかに対応しています。	必要に応じ、非常勤の看護師と週1回の訪問看護師の方に相談し速やかに対応しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院された場合は経過に伴い医療機関と連絡を取り合い、状態に応じた話し合い、早期の退院に向けた働きかけを行っています。その為、病院関係者との関係づくりも行っています。	利用者が入院された場合は経過に伴い医療機関と連絡を取り合い、状態に応じた話し合い、早期の退院に向けた働きかけを行っています。その為、病院関係者との関係づくりも行っています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 東 ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( 西 ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約締結時に重度化や終末期のあり方についてご家族様に説明し同意書を頂いています。また、終末期となった場合にはご家族様と医療機関、グループホーム職員が密に連絡をとり今後の事を検討しています。	契約締結時に重度化や終末期のあり方についてご家族様に説明し同意書を頂いています。また、終末期となった場合にはご家族様と医療機関、グループホーム職員が密に連絡をとり今後の事を検討しています。	契約時に丁寧に説明し、家族も納得している。意思確認書もある。看取りケアの事例もあり、状況の変化に伴い、家族や主治医と緊密な連携を取り、意思を確認しながら支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署より来て頂き、応急救護など事故発生時に備えた訓練を実施しています。	消防署より来て頂き、応急救護など事故発生時に備えた訓練を実施しています。	/	/
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回災害時の避難訓練を実施しています。しかし、地域との協力体制を築くまでには至っていません。	年に2回災害時の避難訓練を実施しています。しかし、地域との協力体制を築くまでには至っていません。	避難訓練は年に2回、消防署の指導を受けながら実施している。しかし、夜間想定や地元消防団や地域住民が協力しての訓練は、出来ていない。スプリンクラーは設置されている。電源コンセントも定期的に点検する等、火を出さないように日頃から気をつけている。	夜間想定や地域と協力しての防災対策の検討、実践を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 東 ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( 西 ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の自尊心を傷つけない様にサービス業らしい言葉遣いや言葉掛けのタイミングには気をつけています。	利用者様の自尊心を傷つけない様にサービス業らしい言葉遣いや言葉掛けのタイミングには気をつけています。	利用者には敬意を持ち、尊厳を大事にしながらの支援である。言葉遣いも丁寧である。居室に入る際も利用者に了承を得ている。個人情報にもきちんと対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	献立を作成する際や、行事での食事内容など利用者様の意見、希望を確認しながら行っています。	献立を作成する際や、行事での食事内容など利用者様の意見、希望を確認しながら行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大体の1日の生活の流れはあるが、起床時間、就寝時間、入浴時間など一人ひとりの希望に添って支援しています。	大体の1日の生活の流れはあるが、起床時間、就寝時間、入浴時間など一人ひとりの希望に添って支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望者は行きつけの理容室へ行かれています。また、希望に応じて事業所内でパーマや白髪染めを行ったりと身だしなみの支援を行っています。	希望者は行きつけの理容室へ行かれています。また、希望に応じて事業所内でパーマや白髪染めを行ったりと身だしなみの支援を行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日曜日の昼の献立は利用者様の意見を聞きながら作成しています。また、一緒におしぼりを作ったり、だしとなるいりこの頭取りをしたりなど共同で行っています。	日曜日の昼の献立は利用者様の意見を聞きながら作成しています。また、一緒におしぼりを作ったり、だしとなるいりこの頭取りをしたりなど共同で行っています。	職員もさりげなく介助をしながら一緒に食卓を囲んでいる。ゆっくりとした食事風景である。外注の食材を利用しているが、希望による献立もある。利用者は自分に出来る片付けやおしぼり配り等を職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の把握はもちろんの事、水分摂取量も把握し普段より摂取量が少ない方には摂取しやすいように工夫しています。	食事摂取量の把握はもちろんの事、水分摂取量も把握し普段より摂取量が少ない方には摂取しやすいように工夫しています。		



自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 東 ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( 西 ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを実施しています。ご自分で出来る方は、なるべく見守りに対応し、困難な方はお手伝いしています。	毎食後、口腔ケアを実施しています。ご自分で出来る方は、なるべく見守りに対応し、困難な方はお手伝いしています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックを元に一人ひとりに応じたトイレ誘導を行っています。(約2時間おき)	排泄チェックを元に一人ひとりに応じたトイレ誘導を行っています。(約2時間おき)	排泄パターンが把握され、その方に応じたトイレ誘導がそれとなく行われている。気配を察しての誘導も見られた。おむつの方でも、昼間はリハビリパンツに換える等の工夫をしており、排泄の改善が見られた利用者もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく食物繊維を摂っていただく為に食事に野菜を多く使用している。また、便秘がちな方には水分を多く摂っていただくようにしています。	なるべく食物繊維を摂っていただく為に食事に野菜を多く使用している。また、便秘がちな方には水分を多く摂っていただくようにしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	おおよその入浴日は決まっているが、利用者様がその日に入浴をしない場合は可能な範囲で別の日に入っていたりしています。希望に応じて入浴時間も変更しています。	おおよその入浴日は決まっているが、利用者様がその日に入浴をしない場合は可能な範囲で別の日に入っていたりしています。希望に応じて入浴時間も変更しています。	基本的には入浴日は決まっているが、希望して毎日入浴している利用者もある。入浴時間帯や入浴順も希望に任せ、ゆっくりと入浴してもらっている。入浴好きな方が多いが、そうでない方には、別の日やタイミングを見計らった入浴支援がなされている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の希望に応じて、午睡していただいたり、食卓の椅子だけでなくゆったりとソファで休んでいただく事もしています。不眠傾向の方には日中に運動を促しています。	利用者様の希望に応じて、午睡していただいたり、食卓の椅子だけでなくゆったりとソファで休んでいただく事もしています。不眠傾向の方には日中に運動を促しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様、各個人のお薬ノートがあり、全スタッフがそのノートを元に内服の把握が行えるようになっています。	利用者様、各個人のお薬ノートがあり、全スタッフがそのノートを元に内服の把握が行えるようになっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれ、食事の準備としておしぼりを巻かれる方やいりこの頭取りを行う方などの役割が自然と分かれています。また、楽しみごととしてカラオケをされる方もおられます。	それぞれ、食事の準備としておしぼりを巻かれる方やいりこの頭取りを行う方などの役割が自然と分かれています。また、楽しみごととしてカラオケをされる方もおられます。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 東 ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( 西 ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や体調の良い日などは希望にそって散歩を行えるようにしています。普段行けないような外出支援に関しては、頻度的に少なくご家族様、地域の人々との協力体制が整っていないので、今後努力する必要があります。	天候や体調の良い日などは希望にそって散歩を行えるようにしています。普段行けないような外出支援に関しては、頻度的に少なくご家族様、地域の人々との協力体制が整っていないので、今後努力する必要があります。	本人の状態や希望によって、事業所周辺の道路や近くの神社や公園まで散歩に出かけている。買い物と一緒に出かける事もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	必要に応じて、買い物の付き添いを行いご本人様でお金を使う事が出来るように支援しています。	必要に応じて、買い物の付き添いを行いご本人様でお金を使う事が出来るように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば、ご家族様に電話をとりついたり、手紙に関しても御本人様の代わりに郵便局に出しに行ったりしとやり取りの支援を行っています。	希望があれば、ご家族様に電話をとりついたり、手紙に関しても御本人様の代わりに郵便局に出しに行ったりしとやり取りの支援を行っています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には季節感のある飾りや絵などを掲示しています。	共用の空間には季節感のある飾りや絵などを掲示しています。	居間には丸テーブルがあり、ソファの数も多く配置しており、利用者がゆっくりとくつろげる場所になっている。桜やチューリップが花瓶に生けられ、季節を感じさせる。ユニット間の仕切りには広いガラスが使用されており、お互いの過ごし方も確認できる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食卓に集まり話ができるように掲示物(写真など)を貼ったりしている。他、ソファを設け1人でも過ごす事ができるようにしている。	食卓に集まり話ができるように掲示物(写真など)を貼ったりしている。他、ソファを設け1人でも過ごす事ができるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具、その他の物品は今までご自宅で使用されていた愛着のあるものを持ち込まれており居心地のよい居住空間となっています。	家具、その他の物品は今までご自宅で使用されていた愛着のあるものを持ち込まれており居心地のよい居住空間となっています。	各居室ともその方らしく落ち着いてゆっくりと暮らせる構成になっている。長年使ってきた愛着のある家具や道具、趣味で編んだ服等で部屋いっぱいになっている居室もある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様がご自分の居室がわかるように表札を設けている。	利用者様がご自分の居室がわかるように表札を設けている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)			1. ほぼ全ての利用者の
		○	○	2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)			1. ほぼ全ての利用者が
		○	○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)			1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
		○	○	4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)			1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
		○	○	3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない